別添

「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」及び

「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」について

○ 放課後等デイサービスガイドライン（以下「ガイドライン」）は、放課後等デイサービス事業所における自己評価に活用されることを想定して作成されたものですが、各事業所で簡易に自己評価を行うことができるよう、ガイドラインの内容を踏まえた「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を作成しました。ただし、この自己評価表を活用してより適切に自己評価を行うために、事業所関係者に対しては、ガイドライン本文を熟読することをお薦めします。

○ さらに、放課後等デイサービスを利用する子どもの保護者等による、ユーザー評価に活用していただくために、より一層簡素な「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」も併せて作成しました。

○ 上記の２つの評価表はあくまで「雛型」であり、事業所等でこれに適宜加除修正を行って活用していただくことも可能ですし、どのような形で活用するかも自由ですが、２つの評価表の基本的な活用方法としては、以下の手順を想定しています。

ステップ１ ○事業者から保護者等に対して、「保護者等向け評価表」を配布してアンケ 保護者等に ート調査を行う。保護者等からの回答は集計し、特記事項欄の記述を含め

 よる評価 てとりまとめる。

○事業所の職員が「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を用いて ステップ２ 自己評価を行う。その際、「はい」「いいえ」などにチェックするだけでな職員による く、各項目について「課題は何か」「工夫している点は何か」について記 自己評価 入する。



 ○職員から回収した評価表を集計の上、職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について、認識をすり合わせる。

 ステップ３ ○職員間で認識が共有された課題については、改善目標を立てる。討議の結事業所全体に

 よる自己評価 果は書面に記録し、職員間で共有する。

○討議に際しては、保護者等に対するアンケート調査結果も十分に踏まえ、 支援の提供者の認識と保護者等の認識のずれを客観的に分析する。

○自己評価結果の公表の仕方については、基本的には「改善目標」や「工夫 ステップ４ している点」の主なものについて、できるだけ詳細に発信する（「はい」自己評価結果 「いいえ」の数の公表を想定しているものではない）。

の公表 ○保護者等のアンケート調査結果は、保護者等にフィードバックする

 （対外的に公表することまでは前提としない）。

ステップ５ 支援の改善 ○立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

○ 業務改善に真摯に取り組む事業所ほど、公表される自己評価結果には、改善目標に関する記述が多くなされるものと想定しています。○ また、（地域自立支援）協議会や事業者団体において、これら評価表を使った自己評価結果の事例発表を行う機会を設けるなどにより、自己評価の取組が広がっていくことを期待しています。

**事業者向け**

**放課後等デイサービス自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **チェック項目**  | **はい** | **どちらともいえない**  | **いいえ**  | **改善目標、工夫している点など**  |
| 環境・体制整備  | ①  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | ○ |   |   | 人数に合わせて部屋を分ける等調整している。 |
| ②  | 職員の配置数は適切であるか  | ○ |   |   | 児童の人数に合わせた職員を配置している。 |
| ③  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか  | ○ |   |   | 利用する児童に対して、トイレの洗面台の位置が高いため、改修を検討中。現在は踏み台を設ける等して、対応中。 |
| 業務改善  | ④  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | ○ |   |   | 療育終了後に振り返り、反省会を行い、改善に努めている。 |
| ⑤  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | ○ |   |   | 保護者等向け評価表を配布し、得られた意向から、業務の改善を行っている。 |
| ⑥  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか  | ○ |   |   |  HPに記載 |
| ⑦  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  | ○ |   |   |   |
| ⑧  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○ |   |   | 外部研修へ出向いた際には報告会を開いたり、職員間において療育で活用できるアイディア等について毎月研修会を実施。 |
| 適切な支援の提供  | ⑨  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか  | ○ |   |   | 半年に一度、保護者と個別に面談を行い、達成度を踏まえ、ニーズや現状に基づいた支援計画を作成している。 |
| ⑩  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか  | ○ |   |   |   |
| ⑪  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか  | ○ |   |   | 月案・週案を職員全体で話し合い、個別・集団内において必要とされる支援を決定している |
| ⑫  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  | ○ |   |   | 昨年度や直近の活動を振り返り、課題の達成状況に応じて適宜見直しを行っている。 |
| ⑬  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか  | ○ |   |   |  長期休暇毎の過ごし方等についてSSTを行う等、細やかな課題を設定しおこなっている。 |
| ⑭  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか  | ○ |   |   | 児童のニーズや状況に合わせて作成。 |
| ⑮  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか  | ○ |   |   | 支援前には、児童の特性・配慮すべき点等の確認を行っている。 |
| ⑯  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか  | ○ |   |   | フィードバックを行い、児童の様子や職員の対応の仕方など次の療育に繋がるようにしている。 |
| ⑰  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  | ○ |   |   | 児童の言動や、課題の達成具合など、随時記録を行っている。 |
|   | ⑱  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○ |   |   | 半年に一度、保護者と個別面談を行い見直す機会を設けている。 |
| ⑲  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか  | ○ |   |   |   |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携  | ⑳  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | ○ |   |   | 管理者、児童発達支援管理責任者が会議に出席している。 |
| ㉑  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか  |  | ○ |   |  地域の小学校と必要に応じて学校連携を行い、トラブルに関しても電話や面談にて相談に応じ、柔軟に対応するように努めている。 |
| ㉒  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか  |   |   | ○ |  現在は対象児童の受け入れがない。 |
| ㉓  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか  | ○ |   |   |   |
| ㉔  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか  |   | ○  |   |  対象者なし |
| ㉕  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  |  ○ |   |   |   |
| ㉖  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |   |   | ○ | 希望をされない保護者もいらっしゃるため、現時点では計画をしていない。 |
| ㉗  | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか  |   |   | ○ | 今後は参加できる機会を設けていく。 |
| ㉘  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか  | ○ |   |   | 活動終了後に、保護者へのふりかえりの時間を設けている。 |
| ㉙  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか  | ○ |   |   | 希望者を募り、小児科及び当事業所内で行っている、ペアレント・トレーニンへの参加を勧めている。 |
| 保護者への説明責任等  | ㉚  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか  | ○ |   |   |   |
| ㉛  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○ |   |   | 半年に一回、保護者との個別面談において相談支援を行っている。 |
| ㉜  | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか  | ○ |   |   | 先輩の保護者の体験談を講演して頂く機会を設け、保護者同士の連携が取りやすくなるよう支援している |
|  | ㉝  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか  | ○ |   |   | その都度、相談に応じ、必要があれば専門職のスタッフによる助言、支援を行っている。 |
|  | ㉞  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか  | ○ |   |   | 会報の発行は行っていないが、活動概要や活動予定等を掲示版に記載し、活動後には今後の予定を含めて振り返りを行っている。 |
|  | ㉟  | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |   |   |   |
| ㊱  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |   |   |   |
|  | ㊲  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか  |   |   | ○ | 保護者の中には、通所していることを知られたくないと思われている方もいるため、現時点では計画していない。 |
| 非常時等の対応  | ㊳  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか  | ○ |   |   | 職員や保護者には周知している。マニュアルを掲示し、意識を高めている。 |
| ㊴  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか  | ○ |   |   | 定期的に災害を想定した話や対応について打ち合わせを行っている。また、児童に対して、活動の中で視覚支援を行っている。 |
| ㊵  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか  | ○ |   |   |   |
| ㊶  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか  | ○ |   |   | 現在、身体拘束が必要となる場面はないが、事故や怪我の回避のためにどうしても必要な場面には保護者に十分な説明を行い安全確保の対応を行う。平素より職員間で個別の特性に応じた代替案を話し合い、子どもを身体拘束することなく、安全に有意義な活動ができるように取り組んでいる。 |
| ㊷  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか  | ○ |   |   | 指示書の提出はないが、保護者と密に連絡を取り合っている。保護者からアレルギーの有無を確認し記録しったうえで、職員間で情報の共有を図っている。 |
| ㊸  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |   |   |  ヒヤリとする様な出来事は、その都度職員間で話し合い、対策を考えている。 |

**保護者等向け**

**放課後等デイサービス評価表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | **チェック項目**  | **はい**  | **どちらともいえない**  | **いいえ**  | **ご意見**  |
| 環境・体制整備  | ①  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  |   |   |   |   |
| ②  | 職員の配置数や専門性は適切であるか  |   |   |   |   |
| ③  | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか  |   |   |   |   |
| 適切な支援の提供  | ④  | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画iが作成されているか  |   |   |   |   |
| ⑤  | 活動プログラムiiが固定化しないよう工夫されているか  |   |   |   |   |
| ⑥  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |   |   |   |   |
| 保護者への説明等  | ⑦  | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  |   |   |   |   |
| ⑧  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか  |   |   |   |   |
| ⑨  | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  |   |   |   |   |
| ⑩  | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  |   |   |   |   |
| ⑪  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか  |   |   |   |   |
| ⑫  | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか  |   |   |   |   |
| ⑬  | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか  |   |   |   |   |
| ⑭  | 個人情報に十分注意しているか  |   |   |   |   |
| 非常時等の対応  | ⑮  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか  |   |   |   |   |
| ⑯  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか  |   |   |   |   |
| 満足度  | ⑰  | 子どもは通所を楽しみにしているか  |   |   |   |   |
| ⑱  | 事業所の支援に満足しているか  |   |   |   |     |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。